

# こすど公民館報

発行所 小須戸町公民館 知日印刷所  
発行人 野良 15日  
発行日 毎月 1部 5日  
印刷所 昭栄堂印刷所

## こうして環境をよく する会が生まれた

兎谷 小林 恭一

戦後日本経済は、世界各國が注目する程の高度成長を遂げつつある。成長の陰のヒズミが色々の形で社会問題をおこし、このまゝの状態では人間同志の生への、みまに闘争のみが続けられることになる。

最近になって生産は生活手段である、やっと生活が優位に考えられるようになった。

兎谷環境を良くする会 1 昭和四十八年度活動方針と組織

1 会長 小林 恭一  
2 副会長 三浦 玉作  
3 理事 加藤 勇一郎  
4 監事 自治会組長 安藤 雄治



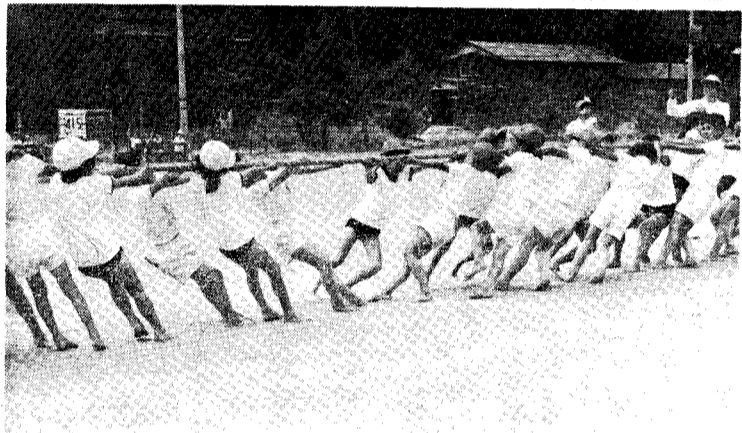
被害状況視察

小須戸小学校



六月の風 朝のグラウンド  
おそき子が歯をくいしばり目の前を走り行きたり いっしょうけんめい  
子が走るときに親たち我が走るごとくになれり われにもありき  
運動会終はりしときに消かなる  
向ひの山にきはどき陽の色

山名 正平



矢代田小学校

## さき題 こんどは人事で またまた新聞種の町議会

町議会

反省のかけらもなし、全くなさげない町議会、これに町民大半の議会に対する評価であろう。

「議長人事で半日空転小須戸臨時議会、議案審議そっちのけ」とある。

「オコッコ、これまたどうしたところ、足のふみ場もネーように、こうちらかしてどうシヨバ、ホンネ花見もいことラが、ヨッパ飲んで食て歌うて、あとサンジョパライレバ、ホンネこまがたのら。世間のシヨがきたら笑われロクンネナンカいい方法がネイもんだロカ。」

「親達もどんなにかうれしいことではないか、どうして利用されるのは、どうして限られる地域のことと違っているのか」といふ。

「第二にこのような問題は住民の日常生活に直結し、また町の行政効率にも大きく関連する問題であるから、町が主導的立場に立つて町内区画並びに名称改定審議会として、町民の声を尊重しながら徹底的に審議を尽くる方法によって、改正をはかるべきである」と存じます。

## 考えてほしい 町内の区域と名称

町当局が幸福な町づくりにするために、日夜多忙を極めていることは充分お察しいたします、またいろいろの方面にわたって、よくやってくることに対して、平素感謝申し上げております。

「ここの二・三年町の郊外地に新しい家がどしどし建てられています、その人達の中には家は建てたが、どの町内に所属すべきか迷っている人も多

「町内を分けて、今の雁巻を分割して町内を作るうじやないかなどという意見もあるようです。このような現象は東海町方面や新保方面、その他にも起きています。町当局でも、こういう問題について検討中とか聞いています、なるべく早く急な解決に迫られています。問題のようには思いません。そこで私の愚案について述べてみたいと存じます。

第一にこの問題をただ単に新興住宅地の問題とせず、この際もっと大所高所から眺めて小須戸町の町部全体の問題として、とりあげたいものも存じます。すなわち大字小須戸の町内名並びに各町内区画の改正をはかることにしたいと思います。たとえば渡場町は、わずかに軒にも満たない町内であるが果たして現状のままよいのかどうか。渡場といふ昔なつかしい町名はいつまでも残しておかなければいけないかといふようなことについて充分検討してほしいものだ。

第二にこのような問題は住民の日常生活に直結し、また町の行政効率にも大きく関連する問題であるから、町が主導的立場に立つて町内区画並びに名称改定審議会として、町民の声を尊重しながら徹底的に審議を尽くる方法によって、改正をはかるべきである」と存じます。第三にこのよう

## 矢代田村の 名主

寛政二年(一七九〇)矢代田を始め水原、湯川、大面等が御上知、藩府直轄。これより新発田藩の直轄。組矢代田は以来、徳川一門で多年徳川、九門の宿衛をしてきた。桑名藩主松平定敬の管領するところとなり、水原に代官所を置き、柏崎を采地として松平定敬は金津藩主等と共に公武一体を唱えたり、徳川氏が朝敵でないことを訴えて、意見が通らず柏崎にきてついに金津と一体となって戊辰戦争に戦った人で、桑名領になつた当時、矢代田村は非常に重要な村だといわれている。私領から離れた村は一段と優越感をもつたという。

- 寛政六年 庄屋本多伊兵衛
- 文化十年 庄屋本多忠太夫
- 天保三年 木多正憲
- 天保六年 庄屋本多伊兵衛
- 天保十三年 庄屋本多忠太夫
- 天保十三年 組頭 山崎 権七
- 弘化四年 庄屋本多正憲
- 嘉永三年 郡中取締役 帶刀御免 庄屋本多藏之丞
- 安政四年 庄屋本多伊兵衛
- 文久三年 庄屋本多東馬
- 明治四年 帶刀御免
- 明治二年 庄屋本多進之允
- 明治二年 庄屋本多蔵之允
- 本多家は他の庄屋と違つた格式を持った。
- 明治十一年 明治天皇北陸御巡幸の際のお休み所となり、また拝願の光榮に浴された。

# もくとうをしましよ

## 交通安全県宣言十一周年記念

来る七月十日は、新潟県が交通安全県の宣言をしてから十一周年を迎える記念日であります。

この日には、午後二時三十分を期して県下全市町村では、サイレン等を鳴らして、県民全体が交通安全事故による死者の冥福を祈り、あわせて交通安全防止の自覚をあらたにするため、一分間ものくとうをささげることになっております。

職場で働いておられる方も、道路を歩いている方も、また学校で勉強している先生・生徒の皆さんも、サイレンを合図に協力下さるようお願いいたします。

小須戸町では、この日交対協・安全協会及び小・中学校などの協力を得て、次の場所より午前七時三十分より八時三十分までの一時間、歩行者及び運転者に対する街頭指導を行います。

- 場所及び協力者数
- 小須戸町公民館前十字路 六人
  - 中学前十字路 六人
  - 幹線 川瀬太郎方前 四人
  - 矢代田陸橋(東側) 六人
  - 若葉町線中学通り十字路 四人
  - 車庫線中学通り十字路 四人
  - 合計六カ所 三十人

### 交通安全標語

- 昭和四十八年度
- 昭和四十七年度

### 交通安全標語

- ◆運転者向け
- ◆歩行者向け
- ◆子供向け

◆街頭指導実施の  
ぼくしない  
どうのどびだし  
わるぶぢけ



憩いの家を清掃奉仕の長寿大学生

長寿大学  
学習日二案内

六月二十日 公民館  
民謡・将棋クラブ  
六月二十二日 憩いの家  
全体学習日「食品衛生に  
ついて」富田敏子講師  
六月二十七日 憩いの家  
家庭科クラブ学習日  
七月二日 新潟市見学  
参加希望者・予定数でメ  
切りました。申込みの方  
はご参加くださるよう  
お知らせします。

## 県展入選 おめでと

さる五月末から、今年度の県展入賞者があり、いづれおとらぬ皆写真の部

中村 貞一

## 電話料が変わります

### 通話時分と距離に応じて

七月八日から通話料の一部が改正されます。これにより行政区域単位ごとの生活行動範囲とマッチしなくなっておりますので、これを是正するための「広域時分制」として、新しい通話料金制度になります。

◆現在通話料は一回七円の「市内通話」と距離でちがう「市外通話」の二本立てとなつていま

◆改正後は現在の区別をなくし、通話料金は、すべて通話時分と距離に応じて計算する制度になります。

◆基本料金が変わります。広域時分制の実施に伴って、料金は電話戸数によって決定することに改められました。これにより七月八日から三級料金局となり、基本料金が変わります。

## はてな???

つぎの問題をといて公民館にお送りください。

答は、はがきと、ところなまえ、学年も書いてください。正解者の中から抽せんして五名に賞品を贈ります。

① ナベやおろしの水が最初にあつくのは上からですか、下からですか

② アサガオのつぼは、右まきですか、左まきですか

③ 道を自転車でリヤカーが通ります。道のどちらを通ったら良いでしょうか

④ 前回の正解と当選者 正解一・三・五でした。

横川 小柳唯子  
五番町 渡辺裕子  
四番町 落合博之

## 野球史を編さん

このたび小須戸町野球史を編さんすることになりました。懐しのエピソード等、永久に後世に残したいと思っております。当時の写真、記憶による記入などして、お心あたりの方は六月末日迄に編輯責任者(小須戸三番町)伊藤三郎までお知らせ願います。(小須戸イグルス)

## ふる里 出雲町 我妻清作

この町の地名の起り川を越すと小須戸と今に伝えて暮群をばげくゆる川風は初夏の匂を吹き上げにけり  
故里の河原に降りて流れゆく雲に季節の移りゆくを見る  
悲しみの心も見る山は遠く喜びもは迫り来りにけり  
白に紅黄に紫と咲き匂う花の鶴出古木小須戸の里は

## 五月旬会報

小須戸町俳句同好会

たんぽぽに運転の目のまた外れる  
行く春や便り忘れし異郷の外  
みずからを初老と笑ひ代田振く  
朝の虹病みゆく視線がなおまぶし  
蝸々と若葉芽して光る阿賀  
早乙女や車にゆれて田をうける  
花弁の里一斉に春爛けにけり  
雨戸くる手も心してヒバの果に  
母の日に母恋う味や木芽相  
立ち残るポンボリひそそと花果て  
風はしる代田の水の動きかな

櫻男 四山 蝶子 越後 太浪 香月 良遊 松山 静花 芳人

## 購入図書

- ◆一路 丹羽 文雄
- ◆ルポ・精神病棟 大熊 一夫
- ◆おおかあさん 第二・三集 高峰三枝子
- ◆女らしいということ 平岩 弓枝
- ◆小さいサムライたち 吉岡たすく
- ◆紋次郎の独白 笹沢 左保
- ◆恋の絵本 遠藤 周作
- ◆頭の教室 多湖 輝
- ◆紙園まち二断 依田 義賢
- ◆海を見ていたジニー 五木 寛之
- ◆忍ぶ糸 北原 優子
- ◆関西周遊殺人事件 斎藤 栄
- ◆殺しの掟 池波正太郎
- ◆流星・鬼平 池波正太郎

家庭の心配ごとは早く解決を、  
一、とき 六月二十二日

## 修学旅行 国際空港

中3 青木敦志

ひかえている。何だか異国へ飛んで行きたいよ。うな気分になる。オウ、望遠鏡。見える、見える。パイロットが笑っている。将来パイロットになろうか。

もうそろそろ集合だ。行かなくっちゃ。なんだか

入口で、小学生と一緒。くさっちゃんね。はいってすぐ記念撮影「ハイ、チーズ」この写真は、いくらだろ。みんなの心配そうな顔。それから中食。「ハイ、待ってました」だけどゆっくり食べても食べない。そこそこ、空港見物。飛行機が来るたびに「ゴー」の音も聞こえる。飛行機が来るたびに「ゴー」の音も聞こえる。飛行機が来るたびに「ゴー」の音も聞こえる。

そういうことで空港を出発して、箱根に向かいました。雄大な箱根の山の姿に目をみはりながらバスにゆられて、私たち

午前十時から 午後三時まで  
五番町 佐藤敏広  
横町 名沢利之  
以上の方には賞品をお送りします。

## 社会保険相談所

開設お知らせ

毎月五日午前十一時より十二時まで  
小須戸町商工会  
内容 健康保険、厚生年金、国民年金について、わからないことがあたらご利用ください。  
社会保険協会新潟支部  
新潟社会保険事務所

## 家庭の心配ごとは

早く解決を、  
一、とき 六月二十二日

## はてな???

つぎの問題をといて公民館にお送りください。

答は、はがきと、ところなまえ、学年も書いてください。正解者の中から抽せんして五名に賞品を贈ります。

① ナベやおろしの水が最初にあつくのは上からですか、下からですか

② アサガオのつぼは、右まきですか、左まきですか

③ 道を自転車でリヤカーが通ります。道のどちらを通ったら良いでしょうか

④ 前回の正解と当選者 正解一・三・五でした。

横川 小柳唯子  
五番町 渡辺裕子  
四番町 落合博之

## 野球史を編さん

このたび小須戸町野球史を編さんすることになりました。懐しのエピソード等、永久に後世に残したいと思っております。当時の写真、記憶による記入などして、お心あたりの方は六月末日迄に編輯責任者(小須戸三番町)伊藤三郎までお知らせ願います。(小須戸イグルス)

## ふる里 出雲町 我妻清作

この町の地名の起り川を越すと小須戸と今に伝えて暮群をばげくゆる川風は初夏の匂を吹き上げにけり  
故里の河原に降りて流れゆく雲に季節の移りゆくを見る  
悲しみの心も見る山は遠く喜びもは迫り来りにけり  
白に紅黄に紫と咲き匂う花の鶴出古木小須戸の里は

## 五月旬会報

小須戸町俳句同好会

たんぽぽに運転の目のまた外れる  
行く春や便り忘れし異郷の外  
みずからを初老と笑ひ代田振く  
朝の虹病みゆく視線がなおまぶし  
蝸々と若葉芽して光る阿賀  
早乙女や車にゆれて田をうける  
花弁の里一斉に春爛けにけり  
雨戸くる手も心してヒバの果に  
母の日に母恋う味や木芽相  
立ち残るポンボリひそそと花果て  
風はしる代田の水の動きかな

櫻男 四山 蝶子 越後 太浪 香月 良遊 松山 静花 芳人